

えちぜん鉄道だより

おわら三国線

H25.8.20

NO.3

福井大学教育学部
地域科学部
附属小学校3年
荻野幸生

一年生から書いていけるえちぜん鉄道だより今年でNo.3です。
ぼくと妹は、えちぜん鉄道で通学しています。
平野も走らるえちぜん鉄道は、秋には黄色赤色の田んぼの中を走り、冬は真っ白な銀世界の中を走っています。乗客も利用客は、会社員、ぼくたち小学生、おとしよりたちです。ポトトンポトトンと音があつて走ります。



切符の券売きは、はいしされ、利用者の年れいそつをつかためたにまど口の駅員または車内のアテンダントから買おうシステムになりました。

土、日、祝日は一日フリーキップがおとくです。

車りようは？

MC 6101形電車	12両
MC 6001 "	2両
MC 5001 "	1両
MC 2101 "	8両
MC 2201 "	鹿車

(車=1-53)

現在は、2204形のみ
ぼくと妹のいる形は6101形が一番多いです。

愛知のひまわり鉄道
100-300形をもとに改造された。えち鉄の主力になっている。

ぼくのはい句
はちいとひまわりがくみん

第三号を書き終えて

一年生から新聞を書き始めた。二号と二号を見ていただけでしたが、二号では車りようの車内のシートについて書きました。利用してくるお客様が気持ち良く使えるえちぜん鉄道だよりのひみつもたくさんあるのですね。ぼくと妹は、えちぜん鉄道で通学しています。ぼくと妹は、えちぜん鉄道で通学しています。

冬になると雪がすくなく、車は走りづらく、走れない時電車になりす。坂井市やあわら市は、大だすかりです。ふりしきるぼたん雪の中をけりてきを鳴らしたる。えち鉄は、ぼくらの宝物です。えち鉄かんぱれ！

初代アテンダント
のしま田郁美さんが、ローカル線のお仕事をされています。TVでもよんだらいい。

クターの力をかりてえち鉄として再スタートというドラマがあります。車体の主色は九頭リウ川をイメージした、黄色は安全運転をイメージしたとされています。上のシンボルマークも、えちぜんというぼくと妹たちのねががこめられ、まはります。大人になってもえち鉄を申し続けたいです。

えちぜん鉄道あわら三国線が、昔はあわら三国線の花火大会です。いつもよりたくさん列車が走ります。三國まつり(7/20)の時、利用客がある。冬は、カニと温泉を三國港まで来て、やすく人水ぶえてきています。

三國港駅ダイヤ
発着時刻
午前5時16分
午後10時10分
無人駅は、十四です。
午前9時～午後7時までは1時間に2回走る。午後9時と10時は1時間に1回走る。
三國港間は、25.2分
ぼくと妹は、新田塚駅でおります。朝は、こもんでます。
運転士さん 34人
アテンダントさん 12人

やさしいアテンダントのおねえさん
とびらのかくにんや出発台、国などの列車をそつする仕事は、しなれてお客さんのお世話をする車上しゃんぼくと妹が、ねてしまつて終点に着いた時、おこしてくれまう。おつかれさまとやさしくいいます。

めがね橋のひまわり
ぼくと妹の楽しみ→手をふる
えちぜん鉄道三國港の駅を乗ると、むかしの文化が、あつてあります。レガア、作りの文化財、カーブの作りが、あつてあります。えちぜん鉄道の文化財、カーブの作りが、あつてあります。えちぜん鉄道の文化財、カーブの作りが、あつてあります。